令和８年度

主要農作物奨励品種等特性表

目　　次

○　奨励品種等一覧 …… 1
○　主要農作物奨励品種等特性表の作成基準 …… 2
１　水稲の部 …… 3
２　麦の部
（１）大　麦 …… 11
（２）小　麦 …… 12
３　大豆の部 …… 14
４　小豆の部 …… 16
５　あわの部 …… 16
６　きびの部 …… 17
７　そばの部 …… 18
○　奨励品種等の変遷 …… 19

長　　野　　県

○奨励品種等一覧

種類			品種名	区分 奨励	区分 認定
水稲	うるち米	主食用米	きらりん	○	
			ゆめしなの	○	
			あきたこまち	○	
			つきあかり		○
			にじのきらめき	○	
			コシヒカリ	○	
			風さやか	○	
			ミルキークイーン		○
			天竜乙女		○
		新需（注1）	ふくおこし		○
		酒米	美山錦	○	
			山恵錦		○
			ひとごこち	○	
			金紋錦		○
	小計		14品種	8品種	6品種
	もち米		カグヤモチ	○	
			オラガモチ	○	
			もちひかり	○	
			モリモリモチ	○	
	小計		4品種	4品種	
合計			18品種	12品種	6品種

種類		品種名	区分 奨励	区分 認定
麦	大麦	シュンライ		○
		ホワイトファイバー	○	
		ファイバースノウ	○	
	小計	3品種	2品種	1品種
	小麦	ゆめかおり	○	
		ユメセイキ		○
		しろゆたか	○	
		ハナチカラ	○	
		しゅんよう		○
	小計	5品種	3品種	2品種
合計		8品種	5品種	3品種
大豆		あやこがね		○
		すずろまん		○
		ギンレイ	○	
		ナカセンナリ		○
		つぶほまれ		○
		すずみのり	○	
合計		6品種	2品種	4品種

種類	品種名	区分 奨励	区分 認定
小豆	中納言	○	
合計	1品種	1品種	
あわ	しなのつぶ姫	○	
	あわ信濃２号	○	
合計	2品種	2品種	
きび	黍信濃１号	○	
	きび信濃２号	○	
合計	2品種	2品種	
そば	桔梗13号（しなの清流）	○	
	蕎麦信濃１号	○	
	信州大そば		○
	開田早生		○
	タチアカネ		○
	長野Ｓ11号		○
合計	6品種	2品種	4品種
総計	**43品種**	**25品種**	**18品種**

注１：新規需要米等

【奨励品種等の定義】

区分	定義
奨励品種	収量性、病害虫抵抗性、品質、食味、その他栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性が優秀であり、普及上特に支障となる欠点のないもの。
認定品種	(1) 収量性、病害虫抵抗性、品質、食味、その他の栽培上の重要な特性、又は生産物の利用上の重要な特性のいずれかに優れているもの。 (2) 奨励品種と同等に優秀であると認められた品種でも、農業者の経営内容及び技術水準、主要農作物の需要動向等からみて普及性が明確でないもの。

○主要農作物奨励品種等特性表の作成基準

この特性表は本県試験場における奨励品種決定調査結果に基づき作成したものである。

項目＼作物	水　稲	麦　類	大豆・小豆	あわ・きび	そ　ば
出穂期	全茎数の 40～50％が出穂した日	同　左	－	全穂の 40～50％が出穂した日	－
稈長	最長稈の地際から穂首節までの長さ	１株又は、一定か所の最長稈の穂首節までの長さ	－	地際から穂首節までの長さ	－
草丈	－	－	－	－	地際から最頂端までの長さ
主茎長	－	－	子葉節又は地際から茎の成長点までの長さ	－	－
開花期	－	－	全株数の 40～50％が開花始めに達した日	－	全株数の約 50%が開花始に達した日
開花最盛期	－	－	－	－	全株数の約 50％の株で、主茎最先端の花房の開花を認めた日
成熟期	帯緑色籾歩合が５％となった時期	小麦…穂首が黄変し１穂の粒が 90%以上褐変した日 大麦…ほとんどの穂及び穂首が黄変した日	全株数の内、80～90％で莢の大部分が変色し、かつ粒の大部分が品種固有の色を現わし、莢を振って音のする日	大部分の穂の下位部粒が臙の硬さに達した日	果実の約 80％が成熟に達した日（成熟とは果皮が黒褐色に変わり、胚乳がやや粉状となったとき）
穂長	最長稈の穂首節から穂先（芒を含まない）までの長さ	同　左	－	穂首節より穂の先端までの長さ（芒を含まない）	－
品質	粒揃、粒色、光沢、心白、腹白、胴割れ等の総合判定	粒張り、粒揃、粒大、粒溝、粒色、光沢、障害粒程度等の総合判定	－	粒の充実度、色沢、粒揃い等の総合判定	－
食味	食味の官能試験の結果	－	－	－	－

1　水稲の部

(1) 農業試験場原村試験地における成績

品種名 (両親名)	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	玄米収量(kg/10a)	玄米千粒重(g)	外観品質	食味	倒伏耐性	稈の細太	葉色	芒の多少	芒の長短	籾先色	籾色	粒着疎密	耐冷性	抵抗性いもち病 葉	抵抗性いもち病 穂	推定遺伝子型 真性抵抗性いもち病	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ( )内は、東信の霧下、中信北部、北信
きらりん [コシヒカリ／空育143号]	奨励 平11 長野農事試	7.27	9.6	72	17.9	531	602	21.2	上下	上下	中	やや細	やや淡	稀	短	黄白	黄白	中	強～やや強	強	強	*Pik*	極早生の穂数型。食味は「コシヒカリ」に近い。耐冷性は強～やや強であるが、冷温時には深水管理等の冷害対策を実施する。いもち病には強い方であるが適正防除に努め、多肥栽培は避ける。玄米は小粒で粒揃い良く、1.7㎜篩の粒選で良質な精玄米が得られる。低暖地の早期収穫栽培にも利用でき、５月上中旬植えで８月中旬の収穫が可能である。	標高1,000m(800m)以下の地帯
ゆめしなの [コシヒカリ／空育143号]	奨励 平9 長野農事試	8.3	9.14	86	18.4	425	682	22.4	上中	上中	やや弱	やや細	中	無	—	黄白	黄白	やや密	強	中	中	*Pia* *Pik*	早生、やや長稈、中間型。稈やや細く耐倒伏性はやや弱。玄米品質は良好で、食味は「コシヒカリ」並の極良。耐冷性は強いが、冷温時には深水管理等の冷害対策を実施する。いもち病には強くないので適正防除に努める。玄米は小粒で粒揃い良く、1.7㎜篩の粒選で良質な精玄米が得られる。	標高800～1,050m(700～1,000m）の高冷地
(糯　米) カグヤモチ [中母37／コチミノリ]	奨励 平3 青森農試藤坂支場	8.4	9.14	68	17.6	477	622	20.9	中上	上	強	やや太	やや濃	無	—	褐	黄白	やや密	やや強	やや強	やや強	*Pia*	早生、短稈、偏穂重型。稈太く強稈で倒伏に強い。耐冷性はやや強であるが、冷温時には深水等の冷害対策を実施する。いもち病には強い方であるが適正防除に努める。穂数確保のため初期生育の促進をはかる。糯の中ではやや大粒で良質、多収。刈り遅れによる品質低下に注意する。	標高900m(700m)以下の高冷地

※耕種方法：例年４月20日を基準日として播種、ビニール折衷、中苗　例年５月25日を基準日として手植え、30×15㎝３本植。
※データは、令和元年～令和７年のうち、収量最高、最低年を除く５ヵ年の平均値。但し「カグヤモチ」は平成14年～平成20年。玄米収量及び玄米千粒重は、1.85㎜篩により粒選した結果。

（2）農業試験場における成績

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／m^2）	玄米収量（kg／10a）	玄米千粒重（g）	外観品質	食味	倒伏耐性	稈の細太	葉色	芒の多少	芒の長短	稃先色	稃色	粒着疎密	耐冷性	抵抗性いもち病 葉	抵抗性いもち病 穂	推定遺伝子型 真性抵抗性いもち病	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ( )内は、東信の霧下、中信北部、北信
あきたこまち［コシヒカリ／奥羽292号］	奨励 平14 (認定 平8) 秋田農試	7.26	9.3	87	18.8	484	642	21.6	上下	上下	中	中	中	少	短	黄白	黄白	中	中	やや弱	やや弱	*Pia *Pii	早生、中稈、中間型。やや多収、良質で、「コシヒカリ」に準ずる良食味。耐冷性やや弱で早生品種としては劣るので、適地を越えた高標高では栽培しない。耐冷性が弱いので低温時には深水管理等の冷害対策を必ず実施する。いもち病に弱いので、発生に注意し適期防除に努める。多肥は品質・食味を低下させるので施肥基準を守る。	標高 700～850m(500～700m）の地帯
つきあかり［かばしこ／北陸200号(みずほの輝き)／／北陸208号］	認定 令3 農研機構	7.28	9.6	77	19.2	365	673	23.4	*中上	－	*やや強	*やや太	*中	*稀	*短	*白	*黄白	*やや密	*やや強	*中	*中	*Pii Pik	早生、中稈、偏穂重型。大粒、多収で「コシヒカリ」に準ずる良食味であり、業務用米に適する。穂数が少ないため、初期生育に留意し、早期の茎数確保に努める。また、疎植は避ける。	東信、南信、中信750m以下 東信の霧下、中信北部、北信700m以下
にじのきらめき［西南136号(なつほのか)／北陸223号］	奨励 令8 農研機構	8.5	9.14	74	20.1	449	744	23.8	*中上	*上中	*強	*中	*中	*極少	*短	*白	*黄白	*中	*弱	*中	*やや強	*Pia *Pii	中生、短稈、中穂の偏穂数型。耐倒伏性が高く、高温登熟耐性はやや強で、収量性が高く、「コシヒカリ」並の食味を有する。耐冷性が弱いため、適応地帯を超えた地帯での栽培は避ける。また、胴割粒がやや多いので適期収穫を徹底する。種子の休眠が深いため、漬種積算温度は 120℃を目安とする。	標高 600m（北信は400m）以下の地帯
コシヒカリ［農林22号／農林1号］	奨励 昭53 福井農試	8.6	9.15	94	19.0	478	637	21.2	上下	上中	極弱	中	やや濃	稀	短	黄白	黄白	中	－	弱	弱	－	中生、長稈、中間型。長稈で倒伏しやすい。外観品質は良く、極良食味。耐倒伏性が極めて劣ること、及び良質・良食味の特性を生かすため多肥栽培は避ける。いもち病に弱いので、防除の徹底を図る。	標高700m(500m　北信地域は400m）以下の地帯

※耕種方法：例年4月20日を基準日として播種、中苗　例年5月20日を基準日として手植え、30×15cm3本植。

※データは、令和元年～令和7年のうち、収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。但し「にじのきらめき」は平成27年～28年、令和4年～令和7年のうち収量最高、最低年を除く4ヶ年の平均値。

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／㎡）	玄米収量（kg／10a）	玄米千粒重（g）	外観品質	食味	倒伏耐性	稈の細太	葉色	芒の多少	芒の長短	籾先色	籾色	粒着疎密	耐冷性	抵抗性いもち病 葉	抵抗性いもち病 穂	推定遺伝子型 真性抵抗性いもち病	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ( )内は、東信の霧下、中信北部、北信
風さやか［北陸178号／信交485号(ゆめしなの)］	奨励 平28 (認定 平24) 長野農事試	8.8	9.19	81	17.9	443	700	21.9	上下	上中	強	やや太	やや淡	無	—	黄白	黄白	密	—	やや強	強	*Pii*	中生の晩、短稈、中穂の中間型。高温登熟による障害粒発生を回避でき、耐倒伏性が高い。いもち病にも強い。また収量性も高く、食味も優れる品種である。	標高 600ｍ（北信は400m）以下の地帯
ミルキークイーン［コシヒカリ MNU 突然変異］	認定 令4 農研機構	8.9	9.20	92	18.6	451	617	21.2	上下	上中	極弱	中	やや濃	稀	短	黄白	黄白	中	—	弱	弱		「コシヒカリ」の MNU 突然変異処理で育成された低アミロース品種。中生、長稈、中間型。長稈で倒伏しやすい。耐倒伏性が極めて劣ること、及び良質・良食味の特性を生かすため多肥栽培は避ける。いもち病に弱いので、防除の徹底を図る。	標高 700m(500m 北信は400m）以下の地帯
天竜乙女［いなひかり／愛知92号(祭り晴)］	認定 平21 長野 南信農試	8.18	9.28	81	20.5	388	635	21.5	中上	上下	強	やや太	中	少	短	黄白	黄白	中	—	強	強	*Pia* *Pii*	晩生、中稈、中穂の中間型。稈はやや太く耐倒伏性が強い。玄米はやや小粒であるが、外観品質は良好である。いもち病には強いが、白葉枯病にはやや弱い。良食味米生産のために多肥栽培は避ける。	南信地方の標高 600m (北信は 400m)以下の地帯

※耕種方法：例年4月20日を基準日として播種、中苗　例年5月20日を基準日として手植え、30×15㎝3本植。

※データは、令和元年～令和7年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。但し、「ミルキークイーン」は平成5年･平成12～15年、令和4年・5年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。玄米収量及び玄米千粒重は、1.85㎜篩により粒選した結果。

※※は育成地（農研機構中日本農業研究センター）判定。

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／㎡）	玄米収量（kg／10a）	玄米千粒重（g）	外観品質	食味	倒伏耐性	稈の細太	葉色	芒の多少	芒の長短	籾先色	籾色	粒着疎密	耐冷性	抵抗性いもち病 葉	抵抗性いもち病 穂	推定遺伝子型 真性抵抗性いもち病	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
（新規需要米等、飼料イネ） ふくおこし ［ほそおもて／ふくひびき］	認定 平23 長野農事試	8.1	9.9	84	19.8	455	754	22.8	—	—	強	中	中	稀	短	黄白	黄白	やや密	やや弱	極強	強	*Pia* *Pii* *Pik*	中生の早の熟期で耐倒伏が強く、いもち病に強い。耐倒伏性が強いため、直播栽培が可能。米粉・醸造用（掛け米）としての利用が可能。炊飯の食味は「並」で食用に供することができる。玄米品質はやや大粒のほか被害粒はなく一般主食用うるちとの識別性はない。	標高700m以下の地帯

※耕種方法：例年4月20日を基準日として播種、中苗　例年5月20日を基準日として手植え、30×15㎝3本植。
※データは、平成25年～令和元年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。玄米収量及び玄米千粒重は、1.85㎜篩により粒選した結果。

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／㎡）	玄米収量（kg／10a）	玄米千粒重（g）	外観品質	食味	倒伏耐性	稈の細太	葉色	芒の多少	芒の長短	稃先色	稃色	粒着疎密	耐冷性	抵抗性いもち病 葉	抵抗性いもち病 穂	推定遺伝子型 真性抵抗性いもち病	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ( )内は、東信の霧下、中信北部、北信
(酒米) 美山錦 [たかね錦の線突然変異]	奨励 昭53 長野農事試	7.27	9.4	97	20.9	402	616	23.8	中上	—	やや弱	やや太	やや濃	無	—	黄白	黄白	やや密	やや強	やや弱	やや弱	*Pia Pii*	中生の早、長稈、穂重型。稈は太いが長稈のため倒伏しやすい。いもち病抵抗性はやや弱い。出穂前後の曇天、低温、強風などで褐変籾が出やすい。米選機は2.0㎜を使用する。大粒で心白の発現率が高く、酒造好適米として適する。穂肥は出穂前20日（幼穂長5～10㎜期）を目標に1回施用とする。	標高700m(600m)以下の地帯
(酒米) 山恵錦 [信交509号／山形酒86号]	認定 平29 長野農試	7.29	9.7	85	19.7	440	667	23.7	中上	—	極強	中	中	中	中	黄白	黄白	やや疎	極強	極強	極強	*Pia Pik*	中生の早、中稈、稈はやや剛く、いもち病に強く、耐倒伏性は極強である。粒着はやや疎である。玄米はやや大粒で、心白発現率が高く、とう精時の砕粒発生が少なく、酒造用に好適。耐冷性は極強。粒選機は2.0㎜を使用する。	標高800m（700m）以下の地帯
(酒米) ひとごこち [白妙錦／信交444号]	奨励 平10 長野農事試	7.30	9.10	83	20.7	398	661	26.9	上下	—	中	中	中	微	短	黄白	黄白	中	強～やや強	中	中	*Pia Pii*	中生の早、中稈、偏穂重型。大粒で心白発現率が高く、極良質の酒造好適米。美山錦より倒伏に強いが、多肥栽培を避ける。高品質米生産のため、追肥は出穂前20～15日の1回とする。適期収穫を行い2.0㎜の米選機で調製し、特上・特級規格米とする。耐冷性は美山錦よりやや強いが、低温時には深水管理等の冷害対策を実施する。	標高700m(600m)以下の地帯

※耕種方法：例年4月20日を基準日として播種、中苗　例年5月20日を基準日として手植え、30×15㎝3本植。
※データは、令和元年～令和7年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。玄米収量及び玄米千粒重は、1.85㎜篩により粒選した結果。

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／㎡）	玄米収量（kg／10a）	玄米千粒重（g）	外観品質	食味	倒伏耐性	稈の細太	葉色	芒の多少	芒の長短	稃先色	稃色	粒着疎密	耐冷性	抵抗性いもち病 葉	抵抗性いもち病 穂	推定遺伝子型 真性抵抗性いもち病	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ( )内は、東信の霧下、中信北部、北信
(酒米) 金紋錦 [たかね錦／山田錦]	認定 昭39 長野農試	7.30	9.12	84	21.8	453	615	25.8	上下	―	弱	中	中	稀	短	黄白	黄白	疎	―	弱	やや弱	*Pia*	中生、中稈、中間型。稈は柔らかく、倒伏しやすい。いもち病・白葉枯病に弱い。粒着は疎で、やや脱粒性がある。大粒で心白発現率が高く、酒造用として好適。米選機は2.0㎜を使用する。	標高500m以下の地帯
(糯米) オラガモチ [ヒデコモチ／アネコモチ]	奨励 平13 古川農試	7.26	9. 2	86	20.2	352	530	21.6	中上	上	やや強	やや太	やや濃	無	―	赤褐	黄白	やや密	強～やや強	やや強	強	*Pia Pii Pik*	早生、やや長稈、やや長穂の穂重型。耐倒伏性はやや強。いもち病に強く、耐冷性に優れる。糯品種の中では穂発芽耐性がある。餅質は「もちひかり」並で良い。餅の硬化性は、「もちひかり」より遅く、柔らかさを維持するタイプである。	標高700～900m（600～800m）の地帯
(糯米) もちひかり [みずずもち／トドロキワセ]	奨励 昭60 長野農事試	7.30	9. 3	82	18.1	508	591	19.6	上下	上	やや強	中	中	無	―	赤	黄白	中	強	中	やや弱	*Pii*	中生の早、中稈、中穂の偏穂数型。いもち病はやや弱である。耐冷性は強い。登熟が良好で品質は良い。餅の硬化性は早い。強稈・多収だが、基肥が不足すると穂数減により、収量が低下するので注意する。	標高800m(700m)以下の地帯

※耕種方法：例年4月20日を基準日として播種、中苗　例年5月20日を基準日として手植え、30×15㎝3本植。
※データは、令和元年～令和7年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。ただし、「オラガモチ」、「もちひかり」は平成11年～平成17年のうち、収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。玄米収量及び玄米千粒重は、1.85㎜篩により粒選した結果。

(3) 南信農業試験場における成績

品種名 (両親名)	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	玄米収量(kg/10a)	玄米千粒重(g)	外観品質	食味	倒伏耐性	稈の細太	葉色	芒の多少	芒の長短	籾先色	籾色	粒着疎密	耐冷性	抵抗性いもち病 葉	抵抗性いもち病 穂	推定遺伝子型 真性抵抗性いもち病	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ( )内は、東信の霧下、中信北部、北信
(糯米) モリモリモチ [モチミノリ／もちひかり]	奨励 平12 長野 南信農試	8.10	9.28	80	21.7	367	717	22.1	上下	上下	強	やや太	中	無	―	赤	黄白	中	―	やや弱	やや弱	＋	晩生の早の糯、中稈、中間型。葉はやや立ち草型良い。稈はやや太く、倒伏に強い。穂長長く、粒着密度は中。いもち病抵抗性はやや弱いので適期防除に努める。白葉枯病には中～やや弱である。玄米は「モチミノリ」より白く外観品質は良い。餅質は良く、大福・おこわ等に適する。良質米生産のため多肥栽培は避ける。	木曽郡を含む南信地方の標高 600m(北信は400m)以下の地帯

※耕種方法：例年4月20日を基準日として播種、中苗　例年5月20日を基準日として手植え、30×15㎝3本植。
※データは、平成11年～平成17年のうち収量最高、最低年を除く5ケ年の平均値。玄米収量及び玄米千粒重は、1.85㎜篩により粒選した結果。

＜参考＞

農業試験場における成績

品種名（両親名）	普及に移した年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／m^2）	玄米収量（kg／10a）	玄米千粒重（g）	外観品質	食味	倒伏耐性	稈の細太	葉色	芒の多少	芒の長短	籾先色	籾色	粒着疎密	耐冷性	抵抗性いもち病 葉	抵抗性いもち病 穂	推定遺伝子型 真性抵抗性いもち病	特性並びに栽培上の注意	適応地帯 ( )内は、東信の霧下、中信北部、北信
(紫黒糯) しなの深紅 [カグヤモチ／東北糯149号]	平10 長野農事試	8.7	9.18	89	20.5	374	459	22.1	—	—	中	やや太	緑紫	少	短	紫	淡紫	やや疎	やや強	やや弱	やや強	*Pia*	中生、脱粒性難の紫黒糯。葉縁部・葉鞘等が紫色を呈する。耐倒伏性は中。一般米に混米すると規格外となるので、同一ほ場で栽培し、混種を防止する。多肥栽培を避け、いもち病の適期防除に努める。果皮部の赤紫色素を利用して、赤飯、餅などの材料に用いる。	標高700m(600m)以下の地帯
(紫黒糯) たかね紫 [カグヤモチ／東北糯149号]	平19 長野農事試	7.26 8.4	9.1 9.21	79 75	20.1 19.0	434 384	414 478	21.2 20.2	— —	—	強	中	緑紫	無	—	紫	淡紫	中	強	強	強	*Pia* *Pii*	早生、脱粒性難の紫黒糯。葉縁部・葉鞘等が紫色を呈する。耐倒伏性は強。一般米に混米すると規格外となるので、同一ほ場で栽培し、混種を防止する。多肥栽培を避け、いもち病の適期防除に努める。果皮部の赤紫色素を利用して、赤飯、餅などの材料に用いる。	標高900m以下の地帯

※普及に移した年次：普及に移す農業技術として採用された年次。
※耕種方法：例年4月20日を基準日として播種、中苗　例年5月20日を基準日として手植え、30×15cm3本植。
※データは、平成11年～平成17年のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。ただし出穂期～玄米収量は、「しなの深紅」は平成14年～平成17年の平均値。「たかね紫」は平成12年及び17年の2ヶ年平均値で、下段は原村試験地における成績(平成12、13、17、18年の4ケ年平均)。玄米収量及び玄米千粒重は、1.85mm篩により粒選した結果。

2　麦の部

（1） 大麦　農業試験場における成績

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／㎡）	子実収量（kg／10a）	容積重（g／ﾘｯﾄﾙ）	千粒重（g）	品質	耐倒伏性	株の開閉	穂型	芒の多少	芒の長短	播性程度	耐寒性	耐雪性	うどんこ病	穂発芽性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
シュンライ［ミノリムギ／東山皮68号］	認定 平28（奨励 平2） 長野農事試	4.22	5.31	83	4.8	503	598	689	36.6	中下	強	中	6条	多	長	I	やや強	やや強	中	易	やや早生、中稈で強稈。穂長はやや長く穂数中位。大粒で外観品質は良く、多収である。精麦加工適性に優れる。うどんこ病抵抗性は中で、斑葉病に強い。秋播性程度が低いので極端な早播きは避ける。せき薄地など条件により空洞粒発生のおそれがあるので、止葉展開期の追肥を実施するなど、肥培管理を適正に行う。	積雪地を除く標高800m以下の地帯
ホワイトファイバー［東山系糯437／東山皮96号（ファイバースノウ）］	奨励 平28 長野農試	4.24	6.1	89	4.9	491	596	673	34.3	中下	強	中	6条	多	長	I	やや強	強	やや強	中	やや早生、中稈で強稈。穂長はやや長く、穂数は少ない。糯性で精麦加工適性に優れる。うどんこ病抵抗性はやや強。秋播性程度が低いので極端な早播きは避ける。十分な穂数を確保するために越冬後の追肥を行い、千粒重確保のため止葉展開期の追肥を実施するなど肥培管理を適正に行う。	積雪地を除く標高800m以下の地帯
ファイバースノウ［シュンライ／東山皮86号］	奨励 平13 長野農事試	4.26	6.2	89	4.6	560	711	692	37.4	中下	強	中	6条	多	長	IV	強	極強	中	易	やや早生、やや長稈。稈はやや剛で倒伏に強い。穂長はやや長く、穂数はやや少ない。大粒で外観品質が良く、多収である。精麦加工適性に優れる。耐寒、耐雪性に優れる。せき薄地など条件により空洞粒発生のおそれがあるので、止葉展開期の追肥を実施するなど、肥培管理を適正に行う。初期生育を確保するため適期播種に努め、十分な穂数を確保するために越冬後の追肥を行う。	県下全域

※耕種方法：播種期10月20日～11月6日。播種量は「ファイバースノウ」7kg／10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。
※データは、平成30年～令和6年度（播種年度）のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。

（2）小麦　農業試験場における成績

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／㎡）	子実収量（kg／10a）	容積重（g／ℓ）	千粒重（g）	品質	耐倒伏性	株の開閉	穂型	芒の多少	芒の長短	播性程度	耐寒性	耐雪性	赤さび病	うどんこ病	穂発芽性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
ゆめかおり［西海180号（ニシノカオリ）／KS831957］	奨励 令3 長野農事試	4.26	6.12	92	7.1	740	485	810	42.2	中中	強	やや閉	紡錘状	やや少	中	Ⅱ	中	弱	強	やや強	やや難	早生、やや長稈で穂数は多いが穂長が短く、耐倒伏性は強い。大粒で千粒重も大きい。耐寒性は中、耐雪性は弱い。穂発芽性はやや難。蛋白質含量はやや高く、強力粉の特性を持ち、製パン適性に優れる。高蛋白で製パン性の高い良質な小麦を生産のため、止葉展開期から開花期の間に追肥を実施する。	積雪地を除く標高700m以下の地帯
ユメセイキ［関東107号／東山24号］	認定 平13 長野農事試	5.2	6.14	80	8.8	447	654	817	40.3	中中	強	やや開	紡錘状	やや少	中	Ⅳ	強	やや弱	－	やや強	難	低アミロース系統。中生、中稈で強稈。穂数は少なく、穂長はやや長く多収。耐寒性強いが、耐雪性はやや弱い。穂発芽性は難。良質で粉の色は白く、製麺適性が良い。ゆでうどんのもちもちした食感が特徴的である。越冬性が十分ではないので、適応標高を越えて栽培しない。	積雪地を除く標高700m以下の地帯
しろゆたか［キヌヒメ／北見81号（きたほなみ）／／キヌヒメ］	奨励 令3 長野農試	4.30	6.14	86	8.8	604	621	802	43.1	中中	強	中	紡錘状	やや少	中	Ⅳ	やや強	強	やや弱	やや強	難	中生、やや短稈で穂長、穂数は中位で、耐倒伏性は強い。千粒重がやや小さい。耐寒性はやや強、耐雪性は強。穂発芽性は難、小麦縞萎縮病抵抗性に優れる。中力粉の特性を持ち、生麺の経時後の色相劣化が少なく、製麺適性が良い。適正な蛋白質含量確保のため、止葉展開期に追肥を実施する。	積雪地を除く標高700m以下の地帯

※耕種方法：播種期10月20日～11月6日。播種量は「東山55号（しろゆたか）」7kg／10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。
※データは、平成30年～令和6年度（播種年度）のうち収量最高、最低年を除く5ヶ年の平均値。

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本／㎡）	子実収量（kg／10a）	容積重（g／ﾄﾘｯﾙ）	千粒重（g）	品質	耐倒伏性	株の開閉	穂型	芒の 多少	芒の 長短	播性程度	耐寒性	耐雪性	赤さび病	うどんこ病	穂発芽性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
ハナチカラ［東山系小264（ハナマンテン）／東北214号（ゆきちから）］	奨励 令3 長野農試	5.1	6.14	92	9.1	568	647	812	42.2	中中	強	中	紡錘状	かなり少	かなり短	V	やや強	やや強	中	やや強	やや難	中生、長稈、強稈で耐倒伏性が強く、穂発芽はやや難。穂長は長く、多収。播性が高く、越冬性に優れる。中華麺適性の高い硬質小麦。適正な蛋白質含量の確保のため、止葉展開期から開花期の間に確実に追肥を実施する。	標高750m以下の地帯
しゅんよう［東北148号／東山10号］	認定 平6 長野農事試	5.2	6.16	88	9.4	709	646	818	39.1	中中	強	やや閉	紡錘状	中	中	Ⅳ	強	中	―	中	難	中生、中稈で強稈。穂長が長く、穂数が多く多収。耐寒性が強く、耐雪性は中。穂発芽性は難。極良質で粉は黄色味が強く、製麺適性が良い。多肥栽培に向く。蛋白質含量が低いので、止葉展開期に追肥を実施する。	積雪地を除く標高900m以下の地帯

※耕種方法：播種期10月20日～11月6日。播種量は「シラネコムギ」7kg／10aを基準とし、千粒重により増減。ドリル播栽培。
※データは平成30年～令和6年度（播種年度）のうち収量最高、最低年を除く５ヶ年の平均値。

３　大豆の部

野菜花き試験場における成績

品種名（両親名）	奨励及び認定品種編入年次　育成地	開花期（月日）	成熟期（月日）	主茎長（cm）	10a当子実重量（kg）	百粒重（g）	タンパク含量（%）	品質	耐倒伏性	花色	粒形	種皮色	臍色	抵抗性紫斑病（粒）	抵抗性うどんこ病	ダイズシストセンチュウ抵抗性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
あやこがね（ホウレイ／エンレイ）	認定　平16　長野中信農試	7.28	10.8	67	275	34.9	43.7	中中	強	紫	球	黄	黄	強	強	弱	早生。草丈は中程度で倒伏に強い。大粒でタンパク質含有率が高く、豆腐加工適性に優れる。煮豆・味噌にも適する。分枝および着莢位置がやや低い。黒根腐病に比較的弱い。やや裂莢しやすいので、適期収穫に努める。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
すずろまん（納豆小粒／東山系U455）	認定　平19　長野中信農試	8.3	10.11	73	315	11.3	39.9	中上	中	紫	球	黄	黄	強	強	弱	中生。納豆用の小粒品種。草丈はやや長く、やや倒伏しやすい。播種重量は普通品種の半分程度とする。茎疫病に弱いので常発地では作付けを避ける。べと病に弱いので常発地では発病を促進する晩播を避ける。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
すずみのり（東山199号／東山系X985）	認定　令3　長野野菜花き試	7.28	10.11	70	328	34.6	43.0	中上	強	紫	楕円	黄	黄	強	強	弱	中生。長葉で草丈は中程度で倒伏に強い。大粒で障害粒が少なく、タンパク質含有率高く、豆腐加工適性に優れる。茎疫病の幅広いレースに強い。青立が少なく裂莢しにくいため、コンバイン収穫に適する。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
ギンレイ（東山系N802／スズユタカ）	奨励　平7　長野中信農試	8.2	10.24	81	317	34.4	41.3	中上	強	紫	球	黄白	黄	強	弱	弱	晩生。草丈はナカセンナリ並で、倒伏に強い。やや大粒、低タンパク質、高糖で豆腐の食味に優れる。蒸煮大豆がやや硬い。立枯性病害に比較的強い。ラッカセイわい化ウイルスに抵抗性がある。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
ナカセンナリ（ほうじゃく／ネマシラズ）	認定　平7（奨励　昭53）　長野農総試中信地方試	8.1	10.22	84	340	30.8	42.8	中中	中	紫	球	黄白	黄	強	弱	強	晩生。草丈は長くやや倒伏しやすい。中粒。蒸煮大豆が軟らかい。ダイズシストセンチュウにやや強く、立枯性病害に比較的強い。センチュウ発生地では多肥密植とする。晩播でも生育量を確保しやすい。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
つぶほまれ（東山140号／タチナガハ）	認定　平15　長野中信農試	8.1	10.28	73	256	41.2	41.3	中上	強	紫	楕円	黄	黄	強	強	弱	晩生。草丈はやや長いが倒伏に強く、着莢位置が高い。極大粒で食味に優れ、煮豆のほか豆腐、味噌等に適する。干ばつに比較的弱い。	中山間地（標播） 低暖地（標播・晩播）

※耕種方法：播種日は6月5日～10日。栽植密度：畦幅75cm、株間16.7cm。１株１本立、800本／ａ。
※データは、平成29年～令和７年のうち令和元年と５年を除いた７年間で、収量最高、最低年を除く５か年の平均値。特性の一部は、旧中信農業試験場のデータも引用した。

＜参考：有色大豆＞

野菜花き試験場における成績

品種名（両親名）	普及に移した年次 育成地	開花期（月日）	成熟期（月日）	主茎長（cm）	10a当子実重量（kg）	百粒重（g）	タンパク含量（%）	品質	耐倒伏性	花色	毛茸色	粒形	種皮色	臍色	抵抗性うどんこ病	ダイズシストセンチュウ抵抗性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
玉大黒［丹波黒／東山140号］	平9 長野中信農試	7.27	10.5	70	282	52.6	44.2	中中	中	白	褐	球	黒	黒	強	弱	黒豆。極大粒で光沢が弱く、粒張りが優れる。早生で草丈は中程度だが、やや倒伏しやすい。登熟時の高温干ばつで粒の側面が凹みやすいので、干ばつ常発地では登熟期に潅水を行うか、晩播で干ばつを回避する。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
華大黒［信濃早生黒／玉大黒］	平22 長野野菜花き試	7.25	10.6	68	293	43.7	43.5	中下	強	白	褐	扁球	黒	黒	強	弱	黒豆。極大粒で光沢が弱く、やや扁平だがしわ粒が少ない。早生、草丈は中程度で分枝が閉じ、倒伏が少ない。枝豆の香りが強い。裂莢しやすいので、成熟後は直ちに収穫するか、早播きを避ける。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
信濃黒［黒長品11／東山50号］	昭53 長野農総試 中信地方試	8.2	10.21	77	330	46.7	43.2	中上	中	白	褐	球	黒	黒	強	弱	黒豆。極大粒で光沢が強い。晩生、草丈は長く、分枝が開張し、倒伏しやすい。べと病に弱いので、常発地では遅播きを避ける。モザイク病にやや弱いので健全種子を使用し、常発地では開花期までアブラムシを防除する。	中山間地（標播） 低暖地（標播）
あやみどり［東山系T751／東山179号］	平20 長野中信農試	8.1	10.19	73	280	37.9	41.4	中中	強	紫	白	扁球	緑	緑	強	弱	青豆。種皮色が鮮やかな緑で臍色と子葉色が緑。大粒。晩生、長葉、草丈はやや長く、着莢位置が高い。倒伏は少ないが、疎植では枝が折れることがある。日光により種皮色があせるので、成熟後は速やかに収穫する。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
信濃緑［福島県の在来浸豆から純系分離］	昭61 長野中信農試	7.28	10.14	68	236	39.5	41.8	中中	強	紫	褐	扁楕円	緑	黒	強	弱	平豆。種皮色と子葉色が緑で黒臍。大粒で浸豆に向く。中生、草丈は中程度で分枝が比較的閉じ、平豆としては草姿が優れる。べと病に弱いので常発地では晩播を避ける。黒根腐病に弱いので常発地では作付を避ける。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
信濃鞍掛（改良型）［東山系V952／信濃鞍掛］	平29 長野 野花試	8.1	10.24	82	300	37.7	41.7	中中	強	紫	褐	扁楕円	緑地黒斑	強	弱	弱	鞍掛模様の平豆。子葉色が緑。大粒で海苔香があり浸豆に向く。晩生、草丈は長いが倒伏は少ない。青立ちしやすいので、過度の早播きや疎植を避ける。斑紋の大きさは登熟期間の気温により変動し、低暖地で早播きすると斑紋が小さく不鮮明になることがある。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）

※普及に移した年次：普及に移す農業技術として採用された年次。

※耕種方法：播種日は6月5日～9日。栽植密度：畦幅75cm、株間16.7cm。1株1本立、800本／a。

※データは、平成29年～令和7年のうち令和元年、2年を除いた7年間で、収量最高、最低年を除く5か年の平均値（黒大豆）、 平成28年～令和7年のうち令和元年、2年、5年を除いた7年間で、収量最高、最低年を除く5か年の平均値（「あやみどり」）、平成30年～令和7年のうち令和元年、2年を除いた6年間で、収量最高、最低年を除く4か年の平均値（「信濃緑」、「信濃鞍掛」）。特性の一部は、旧中信農業試験場のデータも引用した。

４　小豆の部

農業試験場における成績

品種名（来歴）	編入年次奨励及び認定品種 育成地	開花期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	分枝本数	1株莢数（莢）	1株粒数（粒）	10a当子実重量（kg）	百粒重（g）	品質	花色	粒色	臍色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
中納言 ［在来中納言より系統淘汰］	奨励　昭10 長野農試	8.21	10.21	83	6.2	32	192	103	14.6	上	黄	紅赤	灰白	晩生。大粒良質であるが、草丈高く、分枝数多く倒伏しやすいので多肥密植を避ける。 ウイルス病発生に注意する。	高冷地を除く県下全域

※耕種方法：播種日６月１日。

５　あわの部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品種名（来歴）	編入年次奨励及び認定品種 育成地	出穂期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	10a当子実重量（kg）	千粒重（g）	品質	粳糯別	葉色	耐倒伏性	粒の整否	粒の大小	粒色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
しなのつぶ姫 ［粟信濃1号／矮寧黄］	奨励　平19 長野中信農試	8.20	88	18.6	414	2.2	上	粳	緑	強	整	やや小	黄	早生、短稈で倒伏がほとんど無い。播種は晩霜の終わる時期から7月上旬（高冷地は6月中旬）とする。施肥は、窒素で4～5kg/10aを基準として、前作物により減ずる。	県下全域
あわ信濃２号 ［上村在来から選抜］	奨励　平７ 長野南信農試	8.25	127	16.8	302	2.3	上	糯	緑紫	やや強	整	中	黄白	中生の早。やや短稈で、耐倒伏性もやや強い。粒着は密で脱粒は難。	県下全域

※耕種方法：播種日６月16日。
※データは、平成16年～18年の平均値。

６　きびの部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品種名（来歴）	編入年次奨励及び認定品種 育成地	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂重（g）	千粒重（g）	品質	粳糯別	葉色	粒の整否	粒の大小	粒色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
黍信濃１号 ［福島農試から取り寄せ系統淘汰］	奨励　昭19 長野農試桔梗ヶ原分場	8.17	9.27	139	38.7	12.8	5.0	上	糯	緑	整	中	黄	中生。中稈。倒伏が少なく良質である。やせ地にも適し、栽培しやすいが、早播き過ぎるとアワノメイガの害を受ける。肥料の吸肥力強く肥沃地で多収である。成熟すると脱粒し易いので注意する。	県下全域
きび信濃２号 ［天竜村在来から選抜］	奨励　平７ 長野南信農試	8. 6	9.12	103	39.3	11.5	5.0	上	糯	緑	整	やや大	黄白	早生・短稈。粒着密度、脱粒性は「黍信濃１号」と同程度。短稈だが耐倒伏性は「黍信濃１号」と同程度。収量は「黍信濃１号」より低い。	県下全域

※耕種方法：播種日６月14日。
※データは、平成16年～18年の平均値。

7　そばの部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）（標高 750m）における成績

品種名（来歴）	編入年次奨励及び認定品種 育成地	生態型	播種期（月日）	開花期（月日）	最盛開花期（月日）	成熟期（月日）	草丈（cm）	第1次分枝数（本）	10a当子実重（kg）	容積重（g）	千粒重（g）	品質	花色	果皮色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
蕎麦信濃1号［福島県の在来種から系統選抜］	奨励 昭19 長野農事試桔梗ヶ原試験地	中間秋型	8.5	8.30	9.11	10.10	111	3.1	161	615	30.7	中上	白	黒褐	中生・中稈の中間秋型品種。広域適応性が高い。夏まき栽培（秋そば栽培）に用いる。初霜の被害を受ける前に成熟するよう播種期を設定する（生育日数70日前後）。	一部の高冷地を除く県下全域
信州大そば［信濃1号のコルヒチン処理固体から選抜］	認定 平2 信州大学	中間秋型	8.5	8.31	9.17	10.25	115	3.2	121	542	44.5	中上	白	黒褐	四倍体の中間秋型品種。夏まき栽培（秋そば栽培）に用いる。草丈が高く、分枝も多く、茎葉重が重い。個体当りの花房数が多く、千粒重も重いが、製粉歩留りがやや劣る。生育日数が80日前後と晩生のため、信濃1号の播種適期より10～20日前に播種する。	一部の高冷地を除く県下全域
開田早生［開田在来から集団選抜］	認定 平14 長野中信農試	中間秋型	8.5	8.29	9.9	10.8	105	3.0	184	629	30.0	中上	白	黒褐	奨励品種（信濃1号等）の栽培が不適な高冷地での夏まき栽培（秋そば栽培）に適した中間秋型品種。開花・成熟期は、しなの夏そばと信濃1号の中間に位置する。木曽町開田高原（標高1,000m～1,200m）における播種適期は7月20日前後である。	奨励品種（信濃1号等）の栽培が不適な高冷地帯（木曽町開田高原等）
タチアカネ［臼田町在来から集団・個体・系統選抜］	認定 平21 長野中信農試	中間秋型	8.5	8.30	9.11	10.10	109	2.9	164	631	31.8	中上	白	黒褐（成熟時）	中間秋型品種。夏まき栽培（秋そば栽培）に用いる。耐倒伏性に優れる。乳熟期の果皮色が赤くなる個体が多く、9月中旬～下旬頃目立つようになる。	一部の高冷地を除く県下全域
長野S11号［K0814／長野S8号］	認定 令元 長野野菜花き試	中間秋型	8.5	8.30	d	10.12	106	3.4	128	640	35.6	中上	白	黒	長野S8号よりやや早生の中間秋型品種。有限伸育性で長野S8号より短茎で耐倒伏性は長野S8号より優れる。夏まき栽培（秋そば栽培）に用いる。丸抜きの緑色が鮮やかで、そば切りの外観品質に優れる。大粒で容積重は長野S8号並。本葉がアルビノ(白化)となり枯死する個体が1～3％出現するが、収量等に影響ない。栽培は他品種と交雑を防ぐ体制をとることが可能な地域において、集団的に行う。	標高1,200mを超える高標高地帯を除く県下全域
しなの清流［キタノマシュウ／11#51］	奨励 令6 長野野菜花き試	中間夏型	5.15	6.16	d	7.21	107	3.6	195	637	36.8	中上	白	黒	有限伸育性の中間夏型品種。耐倒伏性に極めて優れる。春まき栽培（夏そば栽培）では鳥害を受けるため、被害分散のため数ha規模の集団栽培を行う必要がある。夏まき栽培（秋そば栽培）用にも使用でき、この場合、60日程度で成熟する。	一部の高冷地を除く県下全域
			8.5	8.29	d	10.2	88	3.1	172	635	36.4					

※耕種方法：播種量：5kg／10a、若しくは150粒／㎡、栽培様式：畦幅30cm・条播、施肥量（kg／10a）：N 2.5、P_2O_5 2.5、K_2O 2.0。

※データは、平成18年～令和7年（信州大そばは平成18～27年と令和3～7年、開田早生は平成18～30年と令和3～7年、長野S11号は平成25～令和7年、しなの清流は平成26～令和7年）の平均値。（ただし子実重、容積重、千粒重は、異常気象等による著しい低収年を除いた平均値）※しなの清流、長野S11号の開花最盛期「d」は有限伸育性(determinate)を表す。開花最盛期は無限伸育性では観察できるが、有限伸育性では観察できない。

○奨励品種等の変遷

（1）水稲

	品種名	特性	本県育成	指定の経過	8年指定
うるち（主食用米他）	栃木早生	極早生、長稈、品質劣		大5～昭30	
	無芒愛国	晩生、耐いもち、品質劣		昭2～昭27	
	亀治	晩生、長稈		昭2～昭29	
	陸羽132号	早生、長稈、耐冷、耐いもち		昭3～昭32	
	伊那穂1号	晩生、穂重型、良食味	◎	昭11～昭33	
	農林6号	晩生、穂数型、良質		昭14～昭31	
	信濃3号	早生、強稈、耐冷性強	◎	昭15～昭36	
	農林17号	中生、中間型、耐いもち		昭15～昭36	
	農林14号	中生、良質、耐いもち弱		昭15～昭27	
	中生無芒愛国	中生、穂重型、品質劣、耐冷		昭15～昭33	
	農林22号	晩生、長稈、良質、良食味		昭19～昭33	
	農林29号	晩生、短稈、多収、耐いもち弱		昭23～昭34	
	尾花沢1号	早生、長稈、耐冷、耐いもち		昭25～昭33	
	農林1号	早生、短稈、多収、良質		昭26～昭27	
	農林10号	晩生、大粒、良質、耐いもち弱		昭26～昭34	
	信交206号	中生、短稈、多収	◎	昭26～昭36	
	新7号	中生、強稈		昭27～昭33	
	アイマサリ	中生、強稈、多収		昭27～昭33	
	農林30号	晩生、強稈、良質、耐いもち		昭27～昭29	
	しなのわせ	極早生、耐冷、多収	◎	昭29～昭31	
	テドリワセ	早生、強稈、耐いもち		昭29～昭30	
	チクマ	中生、耐いもち、良質		昭29～昭37	
	アキバエ	中生、耐冷、耐いもち、品質劣		昭29～昭33	
	藤坂5号	極早生、短強稈、耐冷、耐いもち		昭29～昭35	
	アズサ	晩生早、やや短稈、偏穂数、多収		昭31～昭37	
	若葉	晩生、耐いもち強、良質		昭31～昭38	
	金南風	晩生、短稈、穂数型、多収		昭31～昭39	
	南栄	極早生、短強稈、耐冷性強		認昭32～昭54	
	ホウネンワセ	早生、穂数型、多収、良食味		奨昭32～昭61　認昭62～昭63	
	ヤマビコ	晩生、偏穂数型、多収、良質		奨昭33～昭45	
	ヨモヒカリ	中生晩、偏穂数、やや多収、良食味		奨昭35～昭45　認昭46	
	マンリョウ	晩生、偏穂数型、多収、良食味		奨昭36～昭45	
	みやまわせ	極早生、短強稈、耐冷性強	◎	奨昭37～昭45	
	しなのひかり	中生、強稈、耐冷性弱	◎	奨昭38～昭43	
	ほたか	中生晩、偏穂数型、多収、良食味	◎	奨昭39～昭54	
	秋晴	晩生、穂数型、良質、良食味		奨昭40～平4　認平5～23	
	ヨネシロ	早生、強稈、穂重型、耐冷性強		認昭42～平元	
	ほなみ	早生、偏穂数型、多収	◎	奨昭43～昭45	
	トドロキワセ	中生早、穂数型、耐冷性強、多収		奨昭44～平13　認平14～16	
	ツクバニシキ	晩生早、偏穂数型、多収良質		奨昭46～昭52	
	しなのこがね	中生早、偏穂数、極良質、耐冷弱	◎	奨昭47～平11　認平12	
	アキヒカリ	早生、強稈、偏穂重型、良質多収		奨昭51～平3	
	コシヒカリ	中生、中間型、良食味、耐冷性強		奨昭53～	奨
	ヤマヒカリ	晩生、強稈、中間型、良質多収		奨昭53～平2　認平3	
	ハマアサヒ	極早生、中間型、耐冷性強、良質		認昭55～平7	
	ながのほまれ	中生早、偏穂数型、良質、良食味	◎	奨昭55～平12　認平13～16	
	フクホナミ	中生晩、強稈、中間型、良質、良食味		奨昭55～平2　認平3	
	さわほなみ	早生、偏穂数型、耐冷性強、良質	◎	奨昭58～昭61　認昭62～昭63	
	やえこがね	早生、中間型、耐冷性強、良食味	◎	奨昭62～平6　認平7～10	
	コイヒメ	早生、強稈、中間型、耐冷性強		奨平元～平8　認平9～12	
	キヌヒカリ	中生、強稈、中間型、良質良食味		奨平3～27　認平28～令7	
	いなひかり	晩生、強稈、中間型、良質、良食味		奨平5～平11　認平12	
	ユメコガネ	極早生、偏穂重型、良質、耐冷性極強		奨平7～平10	
	ハナエチゼン	早生、短稈、偏穂数型、多収、良食味、耐冷性強		奨平7～平12　認平13	
	あきたこまち	早生、中間型、やや多収、良食味		認平8～平13　奨平14～	奨
	ゆめしなの	早生、中間型、良質、良食味、耐冷性強	◎	奨平9～	奨
	ひとめぼれ	中生早、偏穂数型、良食味、耐冷性強		認平9～平13　奨平14～令7	
	きらりん	極早生、穂数型、良食味、耐冷性強～やや強	◎	奨平11～	奨
	天竜乙女	晩生、中稈　中間型　良質　良食味	◎	認平21～	認
	ふくおこし	中生、多収、多用途（新規需要米等、飼料イネ）	◎	認平23～	認・飼
	風さやか	中生晩、中間型、短稈、良食味、多収	◎	認平24～27　奨平28～	奨
	つきあかり	早生、中稈、偏穂重型、良食味、多収		認令3～	認
	ミルキークイーン	中生、中間型、良食味、耐冷性強		認令4～	認
	にじのきらめき	中生、偏穂数型、耐倒伏性、多収		奨令8～	奨

品種名		特性	本県育成	指定の経過	8年指定
もち	信濃糯1号	晩生、多収、良質、いもち病強	◎	昭6～昭25	
	東京糯	中生、品質中		昭6～昭34	
	大正糯	中生、良質、いもち病弱		昭6～昭27	
	福島糯	早生、長稈、耐冷性強、いもち病強		昭11～昭36	
	信濃糯3号	中生、穂重型、多収、良食味	◎	奨昭19～昭63　認平元	
	しなのはぶたえ	中生晩、穂重型、良質、良食味	◎	奨昭29～平元　認平2	
	ぜんこうじもち	中生、いもち病強	◎	昭31～昭36	
	みすずもち	中生、強稈、穂重型、良質、良食味	◎	奨昭38～平元　認平2～12	
	工藤糯	極早生、偏穂重型、耐冷性強		認昭38～昭51	
	とうげもち	早生、穂重型、耐冷性強、良食	◎	奨昭52～平2　認平3	
	みゆきもち	中生早、中間型、多収	◎	奨昭54～昭60	
	もちひかり	中生早、強稈、偏穂数型、良質	◎	奨昭60～	奨
	ながのもち	中生、強稈、偏穂数型、良質	◎	奨平元～平11　認平12	
	モチミノリ	晩生、強稈、中間型、多収、良質		奨平2～平11　認平12	
	カグヤモチ	早生、穂重型、耐冷性強、良質		奨平3～	奨
	モリモリモチ	晩生早、中間型、強稈、多収、白く良質	◎	奨平12～	奨
	オラガモチ	早生、偏穂重型、耐倒伏性強、良質		奨平13～	奨
酒米	たかね錦	中生早、穂重型、大粒、心白良	◎	奨昭27～昭60	
	金紋錦	中生、穂数型、大粒、粒厚厚い	◎	認昭39～	認
	美山錦	中生早、穂重型、心白発現良	◎	奨昭53～	奨
	しらかば錦	早生、中間型、大粒、心白良	◎	認昭58～令和5	
	白妙錦	中生早、穂重型、心白発現極良	◎	認平4～平9	
	ひとごこち	中生早、偏穂重、大粒、心白発現良	◎	奨平10～	奨
	山恵錦	中生早、心白発現良	◎	認平29～	認
陸稲	胡桃早生43号	早生、短稈、耐干性強		奨昭10～昭63	
陸稲もち	最上糯1号	早生、強稈、耐干性強、多収		奨昭10～昭46	
	ワラベハタモチ	早生、強稈、穂重型、耐干性強		認昭46～昭63	
〈参考〉	しなの深紅	中生、紫黒糯、脱粒性難、良食味	◎	平10～	
	たかね紫	早生、紫黒糯、脱粒性難、良食味	◎	平19～	

（2）麦

品種名		特性	本県育成	指定の経過	8年指定
小麦	渋不知			大5～昭14	
	伊賀筑後オレゴン	極良質、長稈		大9～昭49	
	ブレドリー	極晩生、長稈		昭2～昭18	
	農林1号			昭7～昭16	
	農林15号	多収、品質劣		昭13～昭18	
	農林16号	多収、品質劣		昭14～昭18	
	信濃1号	多収、品質劣	◎	昭14～昭18	
	農林27号	良質、多収、耐寒・耐雪性極強		奨昭16～平2　認平3～平13	
	農林39号	耐雪性強		昭18～昭39以前	
	農林66号	多収、穂発芽易、品質劣		昭19～昭29	
	農林68号	赤かび耐病性、極多収		昭23～昭49	
	農林69号	極多収、耐寒性強、長稈		奨昭23～平2	
	農林67号	強力小麦、品質劣		昭25～昭39以前	
	ユウヤケコムギ	短稈、間作栽培用		昭27～昭39以前	
	農林70号	晩生		昭27～昭39以前	
	ミクニコムギ	早生、短稈、耐寒性強、耐雪性弱		奨昭37～昭61	
	ゼンコウジコムギ	早生、短稈、良質	◎	奨昭43～昭61	
	フクホコムギ	早生、強稈、良質、多収		奨昭54～平2　認平3～平10	
	シラネコムギ	やや早生、良質、多収	◎	奨昭62～令4	
	しゅんよう	中生、良質、多収、耐寒性強	◎	認平6～	
	キヌヒメ	早生、良質、多収、製麺適性高い	◎	奨平11～奨平17	
	ユメセイキ	中生、強稈、多収、低アミロース、製麺適性高い	◎	認平13～令4	認
	フウセツ	中生、強稈、多収、耐寒性耐雪性強、製麺適性高い	◎	認平14～令4	
	ユメアサヒ	中生、長稈、耐寒性・耐雪性弱、製パン適性高い	◎	認平16～平24	
	ハナマンテン	早生、やや強稈、中華麺加工適性高い	◎	認平18～令4	
	ゆめかおり	早生、やや長稈、製パン適性高い	◎	認平22～令2　奨令3～	奨
	ゆめきらり	早生、コムギ縞萎縮病抵抗性、製粉性優れる	◎	認平25～令4	認
	ハナチカラ	中生、長稈、多収、耐寒性高、中華麺適性高い	◎	奨令3～	奨
	しろゆたか	中生、コムギ縞萎縮病抵抗性、製麺適性高い	◎	奨令3～	奨
六条大麦	大六角	早生、良質		大5～昭18	
	五畝四石			大5～昭29	
	備前早生	早生、長稈、良質、多収、耐寒性強		大5～昭39以前	
	倍取105			昭3～昭29以前	
	虎の尾	温暖肥沃地の多肥向		昭2～昭29以前	
	関取	短稈、野菜跡地向		大14～昭29以前	
	雷電	上・下水内の積雪地向		昭3～昭29以前	

品種名		特性	本県育成	指定の経過	8年指定
六条大麦	白麦	肥沃地向、長稈、良質		大15～昭39以前	
	信濃1号	短稈、極多収、品質劣	◎	昭16～昭39以前	
	会津4号	極早生		昭23～昭39以前	
	細麦	耐寒・耐雪性強		昭16～昭39以前	
	コウゲンムギ	良質、多収、耐寒・耐雪性強		昭27～昭43	
	みすず大麦	短・強稈、良質、多収	◎	昭27～昭49	
	シナノハタムギ	晩生、中稈、多収、間作栽培用	◎	昭35～昭43	
	ミノリムギ	中生、やや長稈、良質、多収	◎	奨昭43～平12 認平13～15	
	リクゼンムギ	早生、短・強稈	◎	昭49～昭53	
	サナダムギ	中生、強稈、多収	◎	奨昭49～平元　認平2	
	アサマムギ	早生、中・強稈、大粒多収	◎	奨昭52～平5　認平6～10	
	セツゲンモチ	早生、中・強稈、やや大粒、もち性	◎	奨平11～平15　認平16	
	シュンライ	早生、中・強稈、大粒良質多収	◎	奨平2～平27　認平28～	認
	ファイバースノウ	やや早生、強稈、大粒良質多収、精麦加工適性優	◎	奨平13～	奨
	ホワイトファイバー	やや早生、中・強稈、もち性	◎	奨平28～	奨
二条大麦	ゴールデンメロン	晩生、長稈、耐寒性弱		大5～昭2	
	ニューゴールデン			認昭38～昭62	
	アズマゴールデン			奨昭49～昭61	
はだか麦	バンダイハダカ	耐寒性やや強、多収		昭21～昭39以前	
	シロシンリキ	中生、短稈、耐寒・耐倒伏性強		昭35～昭62	

（3）大豆

品種名	特性	本県育成	指定の経過	8年指定
赤莢	晩生、褐毛、中粒・臍色褐、耐干性強、晩播適応性大		奨昭3～昭43	
銀白	晩生、褐毛、大粒・臍色褐、純系分離品種	◎	奨昭3～昭43	
兄	中晩生、褐毛、中粒・臍色黒		奨昭6～昭35	
農林2号	中生の早、褐毛、中粒・臍色黒、晩播適応性大		奨不明～昭26	
しなのめじろ	中生、大粒	◎	奨昭34～昭38	
ハツカリ	中生の早、褐毛、中粒・臍色褐		奨昭34～昭46	
小倉大豆	晩生、極大粒、純系分離品種	◎	認昭35～平12	
ネマシラズ	晩生、中粒、ダイズシストセンチュウ抵抗性		奨昭37～昭53	
シロメユタカ	中晩生、中粒、多枝多莢で多収性	◎	奨昭36～昭53	
フジミジロ	中生、中粒、多枝多莢で機械収穫に適	◎	奨昭39～昭60	
ミスズダイズ	晩生、大粒	◎	奨昭43～平元 認平2～4	
エンレイ	早生、白毛、大粒、加工適性大(高蛋白質)、晩播適応性大	◎	奨昭46～平8 認平9～15	
ナカセンナリ	晩生、白毛、中粒、ダイズシストセンチュウ抵抗性	◎	奨昭53～平成6 認平7～	認
タチナガハ	中生、長葉、大粒、耐倒伏性、機械収穫に適、晩播適応性大	◎	奨昭61～平27	
ホウレイ	早生、中の大粒、耐倒伏性、ウイルス病抵抗性、晩播適応性大	◎	奨昭62～平2　認平3	
アヤヒカリ	中生、大粒、ウイルス病抵抗性、豆腐加工に適（高蛋白質）	◎	奨平3～平8　認平9～12	
ギンレイ	晩生、大粒、耐倒伏性、ウイルス病抵抗性	◎	奨平7～	奨
ほうえん	早生、大粒、耐倒伏性、ウイルス病抵抗性、晩播適応性大	◎	奨平9～15	
すずこまち	早生、小粒、ウイルス病抵抗性、納豆加工に適	◎	認平13～23	
つぶほまれ	晩生、極大粒、ウイルス病抵抗性、加工用途広い、着莢高い	◎	認平15～	認
あやこがね	早生、大粒、耐倒伏性、ウイルス病抵抗性、加工用途広い	◎	認平16～	認
タチホマレ	中生、長葉、大粒、耐倒伏性、枯れ上がり良く、機械収穫に適	◎	認平18～23	
すずろまん	中生、小粒、ウイルス病抵抗性、納豆加工に適	◎	認平19～	認
すずほまれ	中生、長葉、大粒良質、耐倒伏性、豆腐加工に適	◎	認平24～27　奨平28～令4	奨
すずみのり	中生、長葉、大粒良質、耐倒伏性、枯れあがり良く難裂莢性で機械収穫に適、豆腐加工に適	◎	認令和3～4　奨令5～	奨

品種名	特性	本県育成	指定の経過	8年指定
〈参考〉				
信濃黒	晩生、白花、褐毛、極大粒、種皮色黒(黒豆)	◎	昭53～	
信濃青豆	中生、褐毛、大粒、種皮及び子葉色緑（青豆）、純系分離品種	◎	昭56～	
信濃鞍掛	晩生、褐毛、大粒、扁楕円、種皮色緑地に黒斑・子葉色緑(浸豆)、純系分離品種	◎	昭56～平28	
信濃鞍掛（改良型）	晩生、褐毛、大粒、扁楕円、種皮色緑地に黒斑・子葉色緑(浸豆)、ウイルス病抵抗性	◎	平29～	
信濃平豆	晩生、褐毛、大粒・扁楕円、種皮色黄緑(浸豆)、純系分離品種	◎	昭56～	
信濃早生黒	早生、白花、褐毛、大粒、種皮色黒(黒豆)、耐倒伏性	◎	昭59～	
信濃緑	中生、褐毛、大粒・扁楕円、種皮色及び子葉色緑(浸豆)	◎	昭61～	
玉大黒	早生、白花、褐毛、極大粒・種皮色黒（黒豆）・種皮にろう質有、ウイルス病抵抗性	◎	平9～	
あやみどり	晩生、長葉、白毛、大粒、種皮色・臍色及び子葉色緑（青豆）、ウイルス病抵抗性	◎	平20～	
華大黒	早生、白花、褐毛、極大粒・種皮色黒（黒豆）・種皮にろう質有、ウイルス病抵抗性、耐倒伏性	◎	平23～	

（4）そば

品種名	特性	本県育成	指定の経過	8年指定
蕎麦信濃1号	中間秋型、中生、中稈、広域適応性が高く、夏播き栽培用	◎	奨昭19～	奨
しなの夏そば	夏型、極早生、短稈、春播きと夏播きの両方栽培可能	◎	奨昭54～令6	
信州大そば	中間型、四倍体、夏播き栽培用、草丈が高く、千粒重が重い		認平2～	認
開田早生	中間秋型、中生、高冷地での夏播き栽培に適する	◎	認平14～	認
タチアカネ	中間秋型、中生、中稈、乳熟期の果皮が赤く、耐倒伏性に優れる	◎	認平21～	認
長野S8号	中間秋型、やや長稈、丸抜きの緑色が鮮やか、夏播き栽培用	◎	認平25～令和3	
長野S11号	中間秋型、やや短稈、長野S8号より丸抜きの緑色が鮮やか	◎	認令元～	認
しなの清流	中間夏型、短稈、耐倒伏性に極めて優れ、春播きと夏播きの両方栽培可能、信濃1号より丸抜きの緑色が鮮やか	◎	奨令7～	奨

＊８年指定欄は、令和８年度の奨励品種を「奨」、認定品種を「認」、飼料用米を「飼」と記載。